

## 令和 8 年度 事業計画

### (1) 学校建設事業

今年度の事業については、令和 3 年以降、学校建設事業の実施は不可能な状態と報告の通りです。今年度もこの事業に取り掛かれる見通しは立っていません。

### (2) ボランティア派遣事業

RASA の顧問である南山大学のドミンゴス教授から学内の募集協力体制が変化し、昨年のように教授陣には協力が得られない。この状況を踏まえて、今年度のボランティア派遣は検討する。

### (3) 栄養失調児救済事業

食品配布支援の今年度(2026 年 4 月から 2027 年 3 月)支援額は昨年度と同額とする。送金時には請求書(現地支所作成され、送付された書類)に基づき、RASA が送金する。作成手間や割高な手数料削減と手間削減のため、出張時には手渡しとする。

今期定時総会後の翌月 6 月分から年間予算を按分して、日本円で送金する予定。

※ 6 月に現地に出張し、2026 年度の食品支援について、学校、RASA 及び現地支所責任者で契約をする予定です。

○配布食品の年間予算：日本円で、350 万円(為替変動の影響なし)

○人件費：コーディネーター費 3,000 ペソ/月×12 ケ月 2 名(これ以下は為替変動に準じて支払う)  
ヘルパー費 2,000 ペソ/月×12 ケ月 2 名

○管理費：支所責任者の給料 5,000 ペソ/月×12 ケ月+ボーナス(給料 1 か月分)

○ガソリン：2,000 ペソ×12 か月

○経費：1,000 ペソ×12 ケ月

合計 470 万円(昨年度に準じて支援を行う)

○支援対象の選択基準は、学校が定めた昨年度の基準と同様とする。

○配布は毎月 2 回、定量の同量を 140 名/回に配布。

学校夏季休暇 4、5 月期間は、2 回分をまとめて 1 回で配布する場合もある。

12 月は 1 回配布で 1 回分とクリスマス祝い分(パスタセット)をプラスして配布。

毎回学校での配布時に受領の署名記載の書類を受け取っている。

配布日に学校に受領に当校できなかつた児童や親には、コーディネーターが保管して渡す。

RASA には毎配布日の全学年の受領記録が送付し、報告を受けることになっている。更に配布日毎の受領者の写真を支所責任者から、毎回送付を受けている。

○配布内容

物価上昇が大きいですが、毎月の予算内でカロリー源の米は価格変動しても毎回 5 kg を配布し、成長期に必須のアミノ酸値の高い鶏卵や、吸収のよいカルシウム源の粉ミルクは米の次に配布時に重視して購入するよう指導。

配布食品：米 5Kg（毎回）、粉ミルク、缶詰、インスタント麺 これらを一袋で準備。

卵は割れないように、別袋で準備。

予算の使い方：まず米 5 kg 140 人分を購入、その残額で粉ミルク、卵の量を決定し、残額で缶詰やインスタント麺を購入し、配布内容と各数量に配慮するよう指導。